

令和6年 第9回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和6年 第9回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年9月24日（火） 16:00～17:15

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

教育局長

（企画総務課）河野課長、比江島補佐、田中補佐、野邊補佐、佐藤主幹
前杉主査、中村主事

（学校施設課）町田補佐

（学校教育課）小川課長

（教育情報研修センター）栗原所長

（生涯学習課）大田原補佐

（文化財課）町田課長

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第39号	宮崎市立学びの多様化学校設置基本計画について	企画総務課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第23号	台風10号による被害状況について	教育局長
報告第24号	臨時代理の報告について	教育局長 生涯学習課長 文化財課長
報告第25号	令和6年第5回宮崎市議会定例会（9月）の報告について	教育局長
報告第26号	第6回生目台東小学校・生目台西小学校統合準備委員会の報告について	企画総務課長

黒木教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから、第9回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者は13名です。</p> <p>はじめに、令和6年第5回宮崎市議会定例会にて、片山教育委員の再任が承認されました。片山教育委員から改めてご挨拶をお願いします。</p>
片山教育委員	<p>教育委員としての任期が令和6年10月1日までで終わる心づもりで4月1日から過ごしてきました。任期の終わりに向けて、何ができたのか、ずっと考えていました。ここでの経験を、私の活動の中で生かしていきたいと考えている中で再任の話をいただきました。学校教育に福祉の視点が入ることで、子ども達の権利を守る役割になるのではないかと考えています。役目をいただいたご縁に感謝し、また4年間、精一杯努めます。どうぞよろしくをお願いします。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、会次第「2 会議録署名人の指名」です。</p> <p>本日の会議録の署名人は、私黒木と、小林教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
黒木教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをご覧ください。</p> <p>「(1) 教育長報告」については、ご覧のとおりです。このうち、8月25日から26日にかけて行った「先進地視察」について報告します。</p> <p>1点目は、「BEYOND SCHOOL in 長野 2024」です。学校教育だけでは興味・関心が収まらない知的好奇心の高い子ども達に対して、長野県と一般社団法人Education Beyondが実施しているものです。夏の期間だけですが、7月14日にキックオフを行ってから、研究期間が約1か月間あり、8月25日に最終発表会です。学校外の学びの場の1つの参考として、生かせる部分はないかと思い、最終発表会の視察を行いました。本市でどのような取組ができるかは、今後の検討になります。例えば、サッカーや野球、ダンスは、宮崎市内でもレベルの高い活動ができますが、その他の分野でもっと学びたいと考えている子どもの学びを満たしているのか、宮崎市全体で考えていきたいと思っています。小学生の発表でしたが、レベルが非常に高かったです。</p> <p>2点目は、渋谷区を視察しました。渋谷区は、小中学校の複合化について、事業を進めています。施設だけを見ると、今までの学校とは異なる施設になっています。学校に様々な複合的な施設を入れて、地域コミュニティの核にしていくとのこと。その複合化に合わせて、施設と学びを一体化して変えていこうというのが渋谷区の取組です。月曜から金曜日の午前中は、教科を中心とした授業を行います。午後は、「探究シブヤ未来科」を展開をしています。担当者からは、「午前の教科の授業が非常に大事である。」との話を聞きました。施設だけではなく、学びへの指導を変えていくことが重要です。保護者からも好評で、不登校の子ども達も午後の「探究シブヤ未来科」には登校してくるようです。学校の目の前に民間企業が</p>

	<p>あり、企業と連携して行う取組は、宮崎市も参考にできる取組だと思いました。</p> <p>3点目は、品川区立第一日野小学校です。学校施設について、視察をしました。地域の図書館や音楽ホール、プラネタリウム等、地域の文化施設と学校が複合化している施設です。本市も学校の老朽化が進んでおり、複合化も1つの選択肢ではないかと、さらに研究を進めていく材料にしたいと考えています。</p> <p>私の報告は、以上になります。</p> <p>続いて、「(2) 委員報告」については、記載のとおりです。「(3) 教育局長報告」です。「令和6年第5回宮崎市議会定例会(9月)についての報告は、後ほど議事の報告の中でお願いします。</p> <p>続いて、「(4) 各課行事報告」です。このうち、「①企画総務課」の行事から、「宮崎市「未来の教室」教育フォーラム」と「公民連携インターン」について、一括して事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>企画総務課からは二点報告します。</p> <p>1点目は、8月23日に開催した「令和6年度「未来の教室」教育フォーラム」です。この教育フォーラムは、宮崎市ならではの「未来の教室」の実現に向け、教職員を対象に、毎年実施しているものです。今回は、児童生徒の「多様性に対応した授業の在り方」に焦点を当て、宮崎小学校が取り組んでいる先進的な事例を全体で共有し、小学校は各学校、中学校は各教科ごとに、夏季休業日以降の授業をどう変えるのかという視点で協議を行いました。</p> <p>まず、黒木教育長が全教職員に対して「未来の学校」の姿やその実現に向けた教育委員会の取組の視点、先生方によってほしい視点について説明しました。</p> <p>その後、宮崎小学校から、「多様性に対応した授業」について先進的な取組を2つ紹介してもらいました。1つ目は、複数の教科を横断して実施している自由進度学習「マイプログラム学習」です。2つ目は、児童の興味・関心に応じた個別の探究的な学習、「けやきタイム」です。以前、実際に宮崎小学校の「マイプログラム学習」を参観したことがありますが、子ども達一人ひとりが、取り組む教科や内容、順番を選択し、自己決定したものに集中して取り組む姿がとても印象に残っています。今後、宮崎市内の全小中学校において、宮崎小学校で見たような、児童生徒が学習に夢中になる姿が見られることを期待したいと思います。なお、「未来の教室」教育フォーラム後には、夏季休業日以降の授業において先生が一人ひとりが変えたい教科や具体的にどのように変えていくかについて、アンケートを実施しました。先生方からは、「自由進度学習に挑戦したい」という意見が最も多く、「子ども達に選択・決定させる場面を多く取り入れたい」「子どもの『学びたい』に寄り添った授業改善」という回答もありました。さらに、「中学1年の国語「大人になれなかった弟たちに」で、自由進度</p>

	<p>学習に挑戦します。」と具体的な単元について回答している方もいました。教育長の話、先進的な取組の紹介、その後の協議をとおして授業の実際のイメージがわいてきた先生の感想だと思われます。</p> <p>一方、開催時期が夏季休業最終日であったことやオンライン接続の不具合、協議内容について共通認識をもって参加してもらうこと等が課題として挙げられました。スムーズな進行はもちろん、先生方一人ひとりに届くよう、改善していきたいです。また、参加された先生方が、時代の求めに応じて適切に変わる必要性を実感できるよう、次年度以降の「未来の教室」教育フォーラムの在り方について、今後検討していきたいと思います。</p> <p>2点目は、9月18日から9月20日にかけて、公民連携のインターンがありました。宮崎市と民間企業2社の共同で実施する課題解決型インターンシップであり、宮崎市で初の試みです。</p> <p>「未来を創る超実践型プログラム in 宮崎市」と題して、全国から応募のあった26名の大学生の参加し、課題内容のフィールドとして教育という部門を提供しました。第二次宮崎市教育ビジョンからの改善点として、「ICTを活用しながら、学びの多様性にどう対応するか」「地域と学校が連携・協働して学校教育の充実や地域社会の活性化を図るには」「教員のワークライフバランスを実現し、若者にとって魅力ある職場にするには」という3つのテーマを取り上げ、第三次宮崎市教育ビジョンへの提言をいただいた形です。宮崎小学校や赤江小学校のにもご協力をいただきました。</p> <p>3日間のプログラムでしたが、最終日には学生が教育長への最終プレゼンテーションを行いました。提言の内容を含め、第三次宮崎市教育ビジョンの策定に関することについて、改めて教育委員の皆様にも説明の機会を設ける予定です。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、「②教育情報研修センター」の行事から、「“Welcome to our FURUSATO”プレゼンテーションコンテスト」について、事務局から説明をお願いします。</p>
栗原教育情報研修センター所長	<p>8月22日に宮崎市民文化ホール「“WELCOME to our FURUSATO”プレゼンテーションコンテスト」を実施しました。今年度で2回目となります。</p> <p>今回は、宮崎市立中学校24校の生徒109人が参加しました。本市の魅力について英語でプレゼンテーションを行った後、他校の生徒や外国人の審査員と、即興で英語によるやりとりを行いました。4部門に分けての開催で、入賞校は部門毎の学校数に応じて決定します。Festival部門は赤江中学校、Food部門は宮崎東中学校、Our School部門は赤江東中学校と生目台中学校、Tradition部門は生目南中学校と清武中学校が入賞校です。</p> <p>事後アンケートでは、多くの生徒から「楽しく発表できた」「仲間と練</p>

	<p>習した日々が楽しかった」「これからも英語の学習に力を入れていきたい」といった意見がありました。</p> <p>生徒たちは、即興での英語のやりとりには苦戦していましたが、いずれも堂々とプレゼンを行っていました。ぜひ次年度も、継続して実施したいと考えています。なお、入賞校のプレゼンについては、後日、本センターのホームページに掲載予定です。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>これまでの行事報告に対する質問や各行事に参加された委員の皆様でお気づきになった点、これからの課題、また感想等がありましたら、お願いします。</p>
小林教育委員	<p>「令和6年度「未来の教室」教育フォーラム」にオンラインで参加しました。宮崎小学校の話と「令和6年度 管理職と教育委員会との意見交換会」での話の内容が増幅し、有意義な会議でした。</p> <p>自分たちで学校を変えていくことができるというスタンスで授業を変革しています。宮崎小学校の牧野校長は、最終的なゴールとして、「学びに向かう力をつけていく」ということを示していました。思いをしっかりと持っているからこそその実践だと学びました。「令和6年度「未来の教室」教育フォーラム」に参加できなかった先生に広く周知できるよう、展開できると良いと思います。</p>
松尾代表教育委員	<p>「“ WELCOME to our FURUSATO ”プレゼンテーションコンテスト」に参加しました。素晴らしい取組だと思います。</p> <p>日常の英語の授業の延長上にあるんだという意識を認識しておく必要があると思います。子ども達が生き生きと良い発表をしていました。総合学習と絡める等、学校内でも取り組める内容であると考えました。</p>
黒木教育長	<p>それでは、「4 議事」に入らせていただきます。2ページをご覧ください。</p> <p>本日は、議案が1件あります。議案第39号「宮崎市立学びの多様化学校設置基本計画について」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	それでは、ただいまより非公開とします。傍聴者の方は一旦退席をお願いします。
黒木教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。傍聴者の方は入られるようお願いいたします。</p> <p>続いて、4ページをご覧ください。本日は、報告が4件あります。はじめに、報告第23号「台風10号による被害状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
森屋教育局長	「(1) 市立小中学校の被害概況」をご覧ください。「①全体的な被害の状況」としては、ガラス破損、雨漏り、倒木、停電が多くありました。

	<p>「②突風の直接被害と推察される学校の被害状況」としては、特に被害が大きかった学校が3校あります。</p> <p>1校目は、小戸小学校です。校舎等のガラス破損が52枚、体育館の外壁が落下、倒木7本です。ガラスが多く割れたこと、近隣の太陽光パネルが破損したことにより、小学校の運動場にはガラス破片が散乱しています。運動場は先日復旧ができ、運動会には間に合いました。2校目は、大淀小学校です。ガラス破損と倒木、倒木による遊具の破損がありました。加えて、資材置き場が壊れたり、民家との間のブロック塀が倒壊したりしました。3校目は、青島中学校です。体育館の屋根が破損し、雨漏り等がおきています。床が使えない状況になっており、修復に長期間を要します。来年2月頃までかけて、工事を行っていく予定です。また、学校施設ではありませんが、「二見家住宅」も住宅裏の木が倒れ、屋根の一部が損傷しています。</p> <p>加えて、災害救助法の適用を受け、災害救助法に基づく支援策を行います。災害により住家の全壊、流失、半壊又は床上浸水による喪失若しくは損傷等により学用品を使用することができず、就学上支障のある小学校児童、中学校生徒に対して学用品の給与を行うものです。</p> <p>現時点では、給与を行った事例の報告はありません。今後対応が出てくるものと考えています。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、報告第23号について、質問はありますか。
松尾代表教育委員	今回、小戸小学校に行きました。運動場にまで、ガラスが飛び散っていました。大きな台風が来ることが分かっているときには、窓ガラスが散乱するのを防ぐためにカーテンを閉めたり、養生テープを貼ったりする等、教育委員会事務局から事前に、学校へ必要なものを支給できるような状況はありますか。
森屋教育局長	過去の経験に基づいて、各学校の方で取り組まれていました。松尾代表教育委員のおっしゃるとおり、日頃の準備と心構えが非常に大事だと思います。今回の被害を教訓に各学校と一緒に考えていきたいです。
小林教育委員	鹿児島県では、校長が清掃作業中に突然上から落ちてきた枝が直撃して亡くなられたことがありました。今回の倒木の原因は台風だと想定されますが、樹木医の点検等は、どのくらいの頻度で行われているのか現状を聞かせて下さい。
森屋教育局長	<p>令和4年度に、専門業者を入れて各学校の樹木の状況について確認を行っています。</p> <p>当時の結果としては、伐採が必要な樹木が399本、剪定が必要な樹木が717本でした。その後、毎年の災害等によって、本数が増えています。危険樹木は、令和5年度から順次伐採と剪定を行い、今年の7月時点で残っている危険樹木は、伐採が必要な樹木が165本、剪定が必要な樹木が358本です。来年度中には、危険樹木の伐採、剪定が完了する予定です。</p>
黒木教育長	他に質問がないようでしたら、続いて報告第24号「臨時代理の報告に

	<p>ついて」と報告第25号「令和6年第5回宮崎市議会定例会（9月）の報告について」は関連しますので、一括して事務局から説明をお願いします。</p>
<p>森屋教育局長</p>	<p>8月8日に発生した日向灘を震源とする地震の被害対応となり、急を要することから、宮崎市教育委員会事務委任規則第4条に基づき議会に追加で提案し、令和6年第5回宮崎市議会定例会にて承認を得たものになります。</p> <p>1つ目は、「科学技術館災害復旧事業」で71万5千円です。2つ目は、「市立図書館災害復旧事業」で13万4千円です。3つ目は、「指定文化財災害復旧事業」で145万円です。</p> <p>引き続き報告第25号「令和6年第5回宮崎市議会定例会（9月）の報告について」を説明します。</p> <p>まず、一般質問についてです。教育委員会に対し、12名の議員から52問の質問がありました。いただいた質問については、議員名と質問事項と答弁書の数の表をご覧ください。「学校施設について」「発達障がい児・者等について」「不登校児童生徒に関する事について」「熱中症対策について」「施設の老朽化の今後の対応」など幅広く質問がありました。</p> <p>続いて、提案した議案についてです。今回、教育委員会関連議案として、議案第98号「令和5年度宮崎市一般会計歳入歳出決算の認定について」と議案第114号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第6号）案」、議案第129号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第7号）案」の3件です。</p> <p>まず、議案第98号「令和5年度宮崎市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、現在も継続審査中です。今後の予定として、来月に決算審査委員会で審査をし、その後に議会の本会議で決算認定をしていただく予定です。</p> <p>続いて、議案第114号及び議案第129号のいずれも一般会計補正予算案の詳細です。議案第114号については、前回の教育委員会定例会において、説明をし、承認をいただいたものです。議案第129号については、先ほどの「臨時代理の報告について」で説明した内容です。原案のとおり可決されています。</p> <p>加えて、文教民生委員会の報告の中で3点ほど意見をいただきましたので、紹介します。</p> <p>まず、「学びの多様化学校（不登校特例校）開設準備事業」については、「学びの多様化学校がスムーズに開校できるよう、同校を設置する施設である教育情報研修センター及び同施設内に設置されているひなた中学校並びに教職員の人事を所管する県と十分な協議を行うとともに、入学を希望する生徒及びその保護者に対し丁寧な説明に努められたい。また、最大60名となる定員の妥当性及び入学を希望する生徒が定員を超えた場合の対応について、若干説明が不明確な場面が見受けられたということで、市内には、千人を超える不登校児童生徒がいるとのことであり、事業全体</p>

	<p>の構想及び不登校対策への方針を明らかにするよう努められたい。なお、体育の授業は、近隣の学校の体育館を利用することも検討されているとのことですが、開校後は、近隣の学校の授業に影響がないよう十分な調整に努められたい。」との意見・要望でした。</p> <p>「児童クラブ運営業務委託」については、「現在の事業者が来年度受託できないことに対し、今後どのように解決していくか説明が不明確な場面が見受けられたため、十分な議案審査ができるよう、丁寧に説明するとともに、来年度の児童クラブの運営に支障が生じないよう事業者の確保に努められたい。それから児童クラブの運営にあたりまして、財政的な負担の増加が見込まれることから、他団体の状況を参考に今後の利用料の在り方について研究されたい。」との意見・要望でした。</p> <p>最後に、「審査全体」について、「施設又はその設備の改修にかかる事業について、定期的な予防保全に努めるとともに、補正予算であっても改修にかかる費用を計上する場合には、全体の整備計画や改修の優先度を示すなど、分かりやすい説明の徹底に努められたい。」との意見・要望でした。教育委員会としても、しっかりと受け止めて今後の対応に活かしていきたいと考えています。</p>
大田原生涯学習課長補佐	<p>補足となりますが、「補正の概要」について説明します。</p> <p>「科学技術館災害復旧事業」については、地震によって被災した科学技術館の早期復旧を図るため、被災箇所の復旧工事等を行います。地震の影響により、エントランス周辺のタイル・ブロックの浮きが生じており、利用者や従業員の安全を確保するため、早期修繕を行うものです。</p> <p>「市立図書館災害復旧事業」については、地震の影響により、2階開架スペース天井に設置してあるガラス製の防煙たれ壁が割れ・飛散し、利用者や従業員の安全を確保するため、早急に修繕を行うものです。</p>
町田文化財課長	<p>「指定文化財災害復旧事業」で145万円です。8月8日に発生しました日向灘地震におきまして、国指定史跡「安井息軒旧宅」と市指定文化財でもあります商家資料館「旧阪本家」が被害を受けています。</p> <p>「安井息軒旧宅」については、正面玄関の木造引戸が破損し、管理の面で支障をきたしているため、急ぎ引戸の取り換えを行います。</p> <p>「旧阪本家」については、「なまこ壁」と呼ばれる外壁の一部が破損し、更にはがれ落ちる危険性があるため、急ぎ修繕工事を行います。</p> <p>また、建物内部では、一階の鴨居や二階の天井部分と壁のつなぎ目部分などで歪みが確認されています。まずは応急処置としての修理工事を行います。</p>
森屋教育局長	議会の説明は、以上です。
黒木教育長	ただいま説明のありました、報告第24号、報告25号について、質問はありますか。
教育委員	なし。
黒木教育長	質問がないようでしたら、続いて、報告第26号「第6回生目台東小学

	校・生目台西小学校統合準備委員会の報告について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>9月11日に開催された第6回統合準備委員会では、通学路案や交流学习、生目台西小学校閉校記念式典の計画案について報告がありました。</p> <p>まず、通学路案についてです。3校の教員が実際に歩いて3つの通学路のルートを選定しました。今後の交流学习の時に、児童が実際にルートを通して登校し、確認等が行われます。</p> <p>続いて、交流授業についてです。今年度は5回計画があります。1回目の交流学习は9月5日、6日に実施されました。</p> <p>続いて、生目台西小学校閉校記念式典の計画案についてです。生目台西小学校PTAから報告がありました。閉校記念式典は来年2月16日に開催予定とし、計画が進められています。教育委員の皆様も来賓として案内します。午前に授業参観と閉校記念式典、午後は料理のふるまいやスタンプリー等のイベントも計画されています。</p> <p>最後、統合後の小学校の名称についてです。学校側の負担等考慮し、統合時は生目台東小学校の名称をそのまま使用します。学校名について、生目台西小学校と生目台東小学校のPTAが保護者へのアンケートを行ったところ、「生目台小学校がよい」という意見が6割以上でした。このアンケート結果をどのように取り扱うかについて、事務局で検討し、統合準備委員会の方と協議をしていきたいと考えています。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、報告第26号について、質問はありますか。
小林教育委員	通学路を検討する場合、交通量等の点検も行っているのでしょうか。
河野企画総務課長	3校の教員で確認をしたり、PTAからも意見を聞いたりしているとのことです。
黒木教育長	<p>質問がないようでしたら、質疑はここで終了します。</p> <p>次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。</p> <p>資料の21ページをご覧ください。まず、「授業者支援～宮崎歴史秘話「ヒストミヤ! 2024-2025」第1回～の開催について」、事務局から説明をお願いします。</p>
町田文化財課長	<p>「ヒストミヤ!」は今年で5年目を迎える市内の先生方を対象にした講座で、日頃の授業に+αとなる情報を、文化財課指導主事と文化財課専門職員がタッグを組んでご提供する講座です。以前は直接会場のみでの参加でしたが、今回からGoogle Meetを活用し、オンラインでの参加も可能とします。また、最終的にはオンデマンドで教育情報研修センターのYouTube研修動画にアップすることも視野に入れています。</p> <p>今回の講座は、10月26日に「西南戦争と宮崎の若者たち～島津啓次郎と谷村計介を中心に～」とテーマとして実施します。また、第2回を12月7日、第3回を2月上旬に開催予定です。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありますか。
教育委員	なし。

黒木教育長	その他、委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
教育委員	なし。
黒木教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	次回の定例教育委員会は、令和6年10月23日（水）、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています。
黒木教育長	ただいま説明のありました日時で、定例教育委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>主なものを説明します。</p> <p>10月4日は、「宮崎市総合教育会議」です。</p> <p>10月17日は、「地域・家庭と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月18日は、「若手教員と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月22日は、「中学生と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月23日は、次回の定例教育委員会の予定です。</p> <p>10月25日は、「宮崎県市町村教育委員会連合会 第3回理事会」「県の教育施策に対する県との意見交換会」「宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会」です。松尾代表教育委員の出席です。</p> <p>11月13日は、「全国都市教育長協議会 第4回理事会」です。教育長が東京に出張です。</p> <p>11月14日は、11月の定例教育委員会の予定です。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありますか。
教育委員	なし。
黒木教育長	以上をもちまして、第9回定例会を終了します。